

令和3年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	水の公園福島潟遊水館等（有料）				
管理者名	ハビスカとよさか&アイビス技建共同事業体	指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日
担当課	北区産業振興課				
所在地	新潟市北区前新田乙493番地				
根拠法令	都市公園法				
設置条例	新潟市都市公園条例				
施設概要	敷地面積（管理面積）：41,309.05㎡ 延床面積：2,248.198㎡ 建築構造：鉄筋コンクリート2階建 主な施設内容（構成施設の内容） （屋内施設）①親水プール（長さ25m×5コース）、②幼児プール（円形状 広さ13㎡） ③ジャグジープール（広さ19㎡）、④屋内スライダー（長さ43m）、 ⑤採暖室（2部屋） （屋外施設）①流水プール（1周83m）、②屋外スライダー（長さ10m） ③テラス/屋外更衣ブース、④木舟水路（水路1周360m 木舟5艘）				

施設設置目的	
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
(1)新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。 (9)本市施策の方向性に沿った自主事業の提案・実施に努めること。 北区のスポーツの方向性（北区 区ビジョンまちづくり計画より） <ul style="list-style-type: none"> 施設の活用並びに利用促進を図ること。 区内でのスポーツ教室、大会、各団体の活動状況をより多くの区民に伝える仕組みづくりを進めること。 区民が気軽に親しめるスポーツ活動の場と機会の充実を図ること。 スポーツ活動を通じた区民の一体感の醸成を図ること。 	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市民	広報の充実	ホームページに施設の情報及びブログを月5回以上更新	14.1回/月	A	評価指標を大きく上回った
	基準者数の達成	利用者数年間 106,000人以上	52,975人 71,122人(休止期間を過去4年の平均に置き換えた場合)	C	評価指標に達しなかった
	各種サービス別満足度	施設管理に関する利用者満足度5段階中3以上が85%以上	98.2%	A	評価指標を大きく上回った
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には14日以内に回答	適切に対応した	B	
	本市施策に合致したサービス提供	・本市施策に合致した自主事業（スポーツ教室等）を実施 ・各種スポーツ教室・イベントに延12,000人以上参加	12,863人	B	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
財 務	利用者1人あたりのコスト削減額(管理施設全ての合計額から算出)	利用者1人あたりのコストを917円以下	1,806円	C	
	管理運営経費の削減	省エネ及び環境に配慮した取り組みの実施	適切に対応した	B	
	使用料収入の達成	使用料収入(免除料金含む)が年間17,633千円以上	9,625千円 11,793千円(休止期間を過去4年の平均に置き換えた場合)	C	評価指標に達しなかった
業 務	業務基準書等に定める事項の遵守	その他業務基準書等に定める事項の遵守	遵守した	B	
	他施設との連携に対する理解	他施設との連携会議を月1回以上開催	1回/月	B	
	人員計画の合理性妥当性	業務基準書の人員確保	施設管理に必要な人員を確保した	B	
	日常連絡の適切さ	各種報告書の提出期限厳守及び業務基準書に定められた報告内容の適切さ	適切に対応した	B	
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善内容に応じて軽易なもの即日。時間を要するもの1週間以内に改善対応	適切に対応した	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	施設の安全管理に関する訓練(防火訓練等)年2回以上	2回	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修年1回以上	1回	B	
人 材	事件・事故発生時の対応の適切さ	補償を伴う事故発生件数0件	0件	B	
	配置人員条件の充足	業務に必要な資格又は専門知識、経験を有する職員の配置	適切に職員を配置した	B	
	配置人員の知識やスキルの習得度	プール管理に対応した研修を、職員一人当たり年4回以上受講	11.3回	A	評価指標を大きく上回った
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	労働関係法を遵守し、適切な労働環境の駆逐に務めた	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている。
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

今年度も感染拡大防止に伴う施設の休止や、利用人数の制限等があったため、利用者数や財務に関する評価指数を達成することができなかった。その中で、福島潟周辺の施設で連携を図り、新たな事業(スタンプラリーウォーク)を展開し、福島潟の魅力PRや相互施設の利用促進に務めた。その結果、自主事業の参加人数は施設が十分使えなかった中でも目標を達成することができた。

総 合 評 価 (所 見)

広報はSNSの更新頻度を上げるなど、こまめな情報発信に努めている。
 新型コロナウイルス感染症対策として休館したため、休館した4カ月分は過去の実績の平均を使い調整した。再開後も感染対策として、利用人数の定員制は継続したため、夏休み期間など大勢の利用者数が見込める期間も、思うように利用者数を増やすことができず、年間利用者数、コスト削減、使用料収入は評価指標を達成できなかったが、そのほかの項目は評価指標を達成した。
 今回達成できなかった項目については、利用者ニーズや地域の特色に応じて工夫し、多彩なプログラムに取り組み施設利用者の増加に努めており、徐々にコロナ前の水準に近付きつつある。
 今後もガイドラインに沿って、引き続き夏期以外も利用者数の増加につながる取り組みを期待したい。
 施設運営では、大きな事故や苦情もなく、指定管理業務基準書に基づき管理されており、指定管理者として適切な管理・運営を行っているという評価できる。